

## 平成 31 年度いわての地域国際化人材育成事業 イーハトーブ・キャンプ F A Q

平成 31 年 4 月 3 日  
岩手県教育委員会事務局学校教育課

### 【キャンプの種類】

**Q 1 : イーハトーブ・キャンプの種類が様々あるが、それぞれ何が違うのか。**

A 1 : 目的や参加対象者等が異なります。目的別・学齢別で分けておりますので、それぞれの児童生徒の希望と実態に応じて応募してください。

	ホップコース (Hop)	スキップコース (Skip)	ジャンプコース (Jump)
目的	異文化理解、英語技能向上	英語技能向上、グローバル意識の向上	岩手版グローバルリーダーの育成、岩手の地域活性化担い手育成
対象者	小学 5 年生～中学 1 年生	中学 1 年生～高校 3 年生	中学 1 年生～高校 3 年生 (英検準 2 級程度以上の英語力が望ましい)
日程	日帰り	1 泊 2 日	2 泊 3 日
求める資質	英語を用いた異文化体験に興味のある者 (事前課題なし)	英語の 4 技能向上に興味がある者 (事前課題あり)	英語を用いて、岩手の新たな価値発見や地域国際化の推進に意欲のある者 (事前課題あり)

### 【応募方法】

**Q 2 : キャンプの種類や日程、会場が異なるようだが、申込みはどのようにすればいいのか。**

A 2 : 各日程・会場ごとそれぞれ別に、様式 1「イーハトーブ・キャンプ参加申込書」を提出してください。

キャンプの申込みについては、児童生徒の所属学校所在地や児童生徒の居住地に関わらず、参加対象の条件に合う限り、どのキャンプにも申し込むことが可能です。

なお、提出期限の目処としては、それぞれのキャンプの 1 ヶ月ほど前です。詳細は「イーハトーブ・キャンプ募集要領」で確認してください。

### 【県での選考】

**Q 3 : イーハトーブ・キャンプに応募した児童生徒は必ず参加できるのか。**

A 3 : 応募した児童生徒全員が必ず参加できるとは限りません。

各回とも、参加人数の上限がありますので、参加可能人数を越える応募がある場合は、応募された児童生徒に対し、県で選考を行う予定です。選考については、提出された書類をもとに、申込理由、過去の参加状況、学校ごとのバランス、地域バランスなど、総合的に判断します。参加要件に英語力を求めるキャンプ (ジャンプコース) については、英語外部検定試験の取得状況等も考慮します。選考結果については、該当キャンプ実施の約 3 週間前を目処に応募者に直接通知します。

なお、選外となった場合でも、他の日程・会場のキャンプへの応募が可能です。

### 【東日本大震災津波により被災した児童生徒のキャンプ参加】

**Q 4 「東日本大震災津波により被災した児童生徒」(参加申込書においては、「東日本大震災津波被災の有無」の欄で「有」となる児童生徒)とはどのような児童生徒か。どのような書類を提出する必要があるか。**

A 4 平成 31 年度いわての地域国際化人材育成事業実施要綱 (以下、「実施要綱」と言う。) 3「『東日本大震災津波により被災した児童生徒』に係る参加費補助」の要件を満たしている児童生徒ということになります。参加に係る主催者の費用負担については、「平成 31 年度いわての地域

国際化人材育成事業 イーハートブ・キャンプ実施要領 2 (2)」を参照ください。

各学校で応募予定の児童生徒の状況を把握していただき、所属学校長が実施要綱 3 の要件を満たしていると認める児童生徒について、記入欄に記載いただき応募ください。

なお、所属学校長の公印を押印したイーハートブ・キャンプ参加に係る「東日本大震災津波により被災した児童生徒」確認書(様式 2)を別途郵送いただきます。

また、選考により希望のキャンプに参加できず、別のキャンプに応募する場合については、確認書(様式 2)を再度提出する必要はありません。

#### 【キャンプの参加回数】

Q 5 : キャンプの参加回数に制限があるのか。

A 5 : 今年度キャンプに参加した児童生徒は、同じ年度の同じコースのキャンプに基本的に参加できません。同じ年度の同じ種類のキャンプは研修内容が同じであることに加え、なるべく多くの児童生徒に参加してもらうのが理由です。

ただし、異なるコースやジャンプコース(Jump)については、研修内容が異なるため参加が可能です。また、過去に同じコースに参加した児童生徒でも、過去と内容が若干異なることから、本年度も同じコースへの応募が可能です。ただし、ホップコース(Hop)及びスキップコース(Skip)の内容は、過去のそれぞれの内容に近いものとなりますので御了承ください。

【本年度 1 回目参加コースと次の参加の可否】

1 回目参加コース	次に参加しようとするコース		
ホップ(Hop)	× ホップ(Hop)	○ スキップ(Skip)	○ ジャンプ(Jump)
スキップ(Skip)	○ ホップ(Hop)	× スキップ(Skip)	○ ジャンプ(Jump)
ジャンプ(Jump)	○ ホップ(Hop)	○ スキップ(Skip)	○ ジャンプ(Jump)

※ 参加申込については、昨年度以前の参加の有無は問いません。

#### 【英語力資格の有無】

Q 6 : ジャンプコース(Jump)で、参加者に求められる英語力の資格が書かれているが、資格を持っていなくても参加できるか。

A 6 : 参加可能です。外部検定試験取得の有無についてはあくまでも目安ではありますが、それぞれのキャンプで求められている英語力があるという前提での研修内容となりますので、ご注意ください。

なお、参加可能人数を越えて選考になった場合には、外部検定試験の取得状況も含め、提出書類等により総合的に判断し、参加者を選考しますので、ご了承ください。

#### 【食物アレルギー】

Q 7 : 食物アレルギーのある児童生徒も参加可能か。

A 7 : 申込書に記入されたアレルギーについての情報をもとに、各研修会場では食物アレルギーのある児童生徒に対して、可能な範囲で対応したメニューを提供しております。しかし、全ての児童生徒の固有のアレルギーに対応することは困難であるため、自らの安全を守るよう対応していただきます。

#### 【交通手段】

Q 8 : キャンプ会場までの交通手段はどうすればよいのか。

A 8 : 基本的に、現地集合現地解散をお願いします。交通手段は各自で用意願います。

ただし、青年の家等を会場で使用するコース(ホップコース(Hop)の一部及びジャンプコース(Jump))に関しては、施設の送迎バスの利用が可能であることから、利用希望の場合は、申込書にその旨を記入してください。なお、発着駅はこちらで指定させていただきます。

岩手県立総合教育センター会場のスキップコース (Skip) については、大変申し訳ありませんが、施設の送迎バスはありません。公共交通機関を利用する場合、最寄りのバス停が花巻温泉前となります。総合教育センターまで徒歩で 30 分ほどかかります。

【高校生ボランティア】

Q9： 高校生ボランティアは、どのようなことをするのか。どのような高校生が求められるのか。

A9： 主に**キャンプの運営補助と参加者補助等**をしてもらいます。例えば、会場準備、物品準備や片付けをしてもらったり、参加者が英語の指示が分からない時に、より分かりやすく伝えたりします。また、参加者が英語でうまく表現できない場合、指導者に英語で伝えたりもします。そのため、**ある程度の英語力が必要です。**

また、**英語を用いた活動の経験があると、参加者の補助もしやすい**と思われるため、過去にイングリッシュ・キャンプ等や海外派遣研修の他、国際関連事業（いずれも主催者は問わない）に参加した生徒の応募が望ましいです。

なお、該当キャンプの全日程対応できなくてもかまいませんが、**1 日単位以上での参加**をお願いします。昼食費（スキップコース (Skip) については 2 日目のみ）については主催者で負担しますが、**交通費等は自己負担となります。**一部のホップコース (Hop) においては、参加者が利用できる送迎バスの利用も可能です。

【保険について】

Q10： 参加生徒は傷害保険に入ることだが、保険料はいくらか。

A10： 一人当たり 1 回のキャンプで、300 円くらいと考えております。なお、キャンプの日数により保険料も異なるため、詳細は各キャンプの実施要項通知時にお知らせします。

【事後の国際関連イベント参加】

Q11： イーハートーブ・キャンプの参加者は、研修修了後に国際関連イベントに参加することだが、ということか。

A11： 主催団体は問いませんので、**国際関連イベントへ参加し、県教委担当者宛て報告してください。**

イーハートーブ・キャンプの目的が、岩手における地域国際化に貢献できる人材の育成を目指すものであることから、キャンプ参加を第一歩目としたとき、**第二歩目として、国際理解・国際貢献等の行動を起こすことをねらいとし、参加を義務付けるもの**です。

国際関連イベントとは、例えば公益財団法人岩手県国際交流協会主催「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」や、市町村国際交流協会主催の「国際フェア」、市町村主催のイングリッシュ・キャンプ、ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京オリンピック (Tokyo 2020) 関連のイベントや、国際関連の各種ボランティア活動などがあります。国際関連イベント参加以外にも、参加者自身で自主的に国際理解・国際貢献等に関する活動をすることも認められます（例えば、ユニセフ募金や近隣在住外国人に対する手伝い、国際関連テーマの作文投稿 等）

報告については、各キャンプの実施要項送付の際に報告様式をつけますので、**当該年度末までに 1 回以上参加（キャンプ参加の前後を問わない）し、その報告を担当者宛て送付**いただきます。詳細につきましては、別途案内します。